

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【公表番号】特表2009-520241(P2009-520241A)

【公表日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-547269(P2008-547269)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/20 6 1 1 A

G 0 9 G 3/20 6 4 1 D

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/20 6 4 2 J

G 0 9 G 3/20 6 4 2 K

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/12 B

G 0 9 G 3/20 6 5 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月4日(2009.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フル・カラー画像を生成させるためのOLEDディスプレイであって、

a) アドレス可能な3つの異なる色の色域決定画素と、アドレス可能な4番目の色域内画素とが含まれる異なる少なくとも4色の複数のカラー画素(ただし各画素は、第1の電極および第2の電極と、これら電極の間に設けられた1つ以上の有機発光層とを有する有機発光ダイオードを備えている)を備えていて;

b) 上記OLEDディスプレイは、選択されたディスプレイ白色点と、ディスプレイ・ピーク輝度と、色域決定画素ピーク輝度と、色域内画素ピーク輝度とを持ち;

c) 上記OLEDディスプレイはさらに、上記各カラー画素の有機発光ダイオードの輝度を調節して、上記色域決定画素ピーク輝度の和が上記ディスプレイ・ピーク輝度よりも小さくなるようにする駆動手段を備えているOLEDディスプレイ。

【請求項2】

上記ディスプレイ・ピーク輝度が、上記色域内画素によって、またはその色域内画素と1つ以上の上記色域決定画素によって提供される、請求項1に記載のOLEDディスプレイ。

【請求項3】

アドレス可能な3つの異なる色の上記色域決定画素が、赤色光、緑色光、青色光をそれぞれ発生させ、アドレス可能な上記4番目の色域内画素が白色光を発生させる、請求項1に記載のOLEDディスプレイ。